

第 24 回 (2016 年) 放美展 運営委員会

と き : 2015 年 11 月 16 日
17 : 30 ~

と ころ : 四国放送大会議室

1 あいさつ

- ・放美展運営委員会 委員長 岡本和夫 (四国放送取締役編成局長)
- ・徳島県美術家協会会長 河崎良行

2 議題

(1) 第 23 回展 (2015 年) の報告

- ・放美展役員・運営委員名簿 . . . P2
- ・出品人数、点数 . . . P3
- ・出品点数と出品料 . . . P4
- ・入場者数 . . . P5~7
- ・決算 . . . P8

(2) 第 24 回展 (2016 年) の方針等

- ・開催スケジュール . . . P9
- ・運営詳細 . . . P10~12
- ・各部門 提出物 . . . P13~15

3 その他

放美展役員・運営委員名簿 第24回(2016年)、第25回(2017年)

役職名	氏名	郵便番号	住所	電話番号
運営委員長	岡本 和夫	770-8573	四国放送取締役編成局長	088-655-7507
美協会長	河崎 良行	770-0006	徳島市北矢三町 4-9-13	088-632-0802
美協副会長	松下 雄介	771-1350	板野郡上板町瀬部字瀬部 216-3	088-692-6117
	西野 和男	771-4261	徳島市丈六町八斗代 7-6	088-645-1285

運営委員				
日本画	岡 英彦	770-0861	徳島市住吉 4-5-56	088-626-0911
	長谷 壽	779-1620	阿南市福井町中内 162	0884-34-2767
	中西 芳雄	773-0001	小松島市小松島町新港 31-21	0885-32-4636
洋画	榊田 務	770-8041	徳島市上八万町西山 1440	088-644-2872
	玉田 秀子	770-8041	徳島市八万町下福万 124-10	088-668-1857
	西川 周三	770-8031	徳島市大谷町大縄手 7-1	088-669-1304
写真	上野 照文	770-0864	徳島市大和町 2 丁目 3-48-102	088-656-0239
	橋本 圭祐	772-0002	鳴門市撫養町斉田北浜 46	088-685-2552
	大和 健司	773-0045	小松島市中田町狭間 34-2	0885-33-3172
彫刻	松永 勉	770-0801	徳島市上助任町三本松 366-13	088-632-3275
	濱口 恵	770-0005	徳島市南矢三町 2-4-17	088-631-3450
	鎌田 邦宏	770-0046	徳島市鮎喰町 1-115	088-632-0673
美術工芸	多智花佐代子	770-0045	徳島市南庄町 3 丁目 36-1	088-631-4728
	松下 慶一	771-1252	板野郡藍住町矢上字春日 10-4	088-692-8651
	橘 恵	771-0203	板野郡北島町中村字竹ノ下 25-5	088-698-7176
書道	荒井 彭仙	770-8073	徳島市八万町上福万 3-80	088-668-4767
	中尾 勝子	770-0944	徳島市南昭和町 7 丁目 35-8	088-654-7870
	山口 華城	779-4401	美馬郡つるぎ町半田字松生 180-1	0883-64-2827
デザイン	田中 一郎	776-0006	吉野川市鴨島町喜来甲 21-6	0883-24-6586
	坂野 美恵子	779-3112	徳島市国府町芝原寺地 23	088-642-3153
	敷島 のり子	771-1155	徳島市応神町西貞方字小島 66	088-641-1282
四国放送	小西誠一郎	770-8573	四国放送営業開発部	088-655-7519
	渡邊万城子	770-8573	四国放送営業開発部	088-655-7692

第 23 回展 出品点数・人数

	申込数	受付数				入賞・入選数							展示 総計		
		点数	人数	点数	前年 点数	放	優	梅	四国	入選	前年 入選	一般 展示計		審査 員	無 審査
日本画	一般	21	20	20	19	1	2	1	1	16	19	21	3	0	24
	高校/大学 専門/高専	11	10	10	12										
	高 1 1 / 大 0 / 専 0 / 高専 0 (U25/11)														
	合計	32	30	30	31										
洋画	一般	136	108	122	125	1	7	1	1	76	74	86	3	1	90
	高校/大学 専門/高専	34	33	34	28										
	高 3 1 / 大 3 専 0 / 高専 0 (U25/37)														
	合計	170	141	156	153										
写真	一般	391	147	382	411	1	16	1	1	125	121	144	3	5	152
	高校/大学 専門/高専	13	15	17	9										
	高 1 3 / 大 0 / 専 0 / 高専 0 (U25/17)														
	合計	404	162	399	420										
彫刻	一般	17	11	17	8	1	1	1	1	15	8	19	3	1	23
	高校/大学 専門/高専	10	10	10	7										
	高 9 / 大 1 / 専 0 / 高専 0 (U25/10)														
	合計	27	21	27	15										
美術工芸	一般	126	81	120	117	1	5	1	1	81	80	89	3	2	94
	高校/大学 専門/高専	6	6	6	7										
	高 6 / 大 0 / 専 0 / 高専 0 (U25/6)														
	合計	132	87	126	124										
書道	一般	95	62	91	145	1	8	1	1	106	108	117	3	0	120
	高校/大学 専門/高専	91	89	90	65										
	高 8 6 / 大 4 / 専 1 / 高専 0 (U25/98)														
	合計	186	151	181	210										
デザイン	一般	10	7	9	11	1	5	1	1	40	45	48	3	1	52
	高校/大学 専門/高専	122	114	115	110										
	高 1 1 9 / 大 3 / 専 0 / 高専 0 (U25/122)														
	合計	132	121	124	121										
大人		797	436	761	836	7	44	7	7	459	455	524	21	10	555
高校・大学 専門・高専		287	277	282	238										
合計		1084	713	1043	1074										

※ (U25) → 25歳以下の出品点数(四国大学賞対象作品)

第23回展 出品数と出品料

		人数										人数	点数	金額
	出品料	日	洋	写	影	美	書	子	人数	点数	金額			
大人・大学生	一点出品者	3000円	20	97	12	6	47	33	5	220	220	¥660,000		
	二点出品者	4000円	0	8	35	4	29	29	2	107	214	¥428,000		
	三点出品者	5000円	0	3	100	1	5	0	0	109	327	¥545,000		
	大人 小計 (あ)		20	108	147	11	81	62	7	436	761	¥1,633,000		
高校生 大学生 高専生 専門学校生	一点出品者	1000円	10	32	14	10	6	88	113	273	273	¥273,000		
	二点出品者	2000円	0	1	0	0	0	1	1	3	6	¥6,000		
	三点出品者	3000円	0	0	1	0	0	0	0	1	3	¥3,000		
	高・大・専・高専小計 (い)		10	33	15	10	6	89	114	277	282	¥282,000		
合計 (あ+い)			30	141	162	21	87	151	121	713	1043	¥1,915,000		

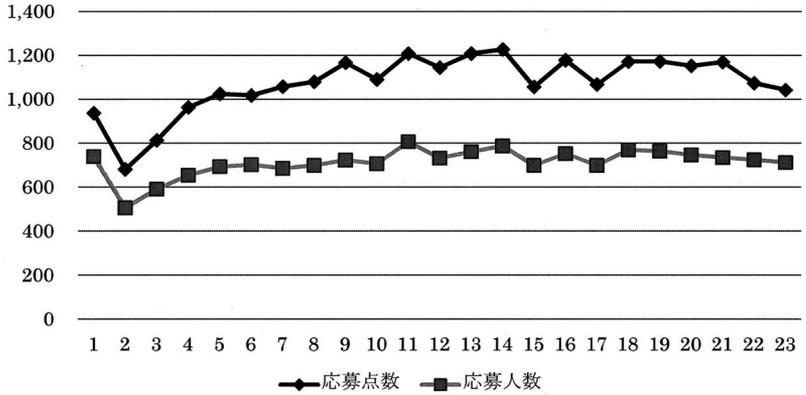
第23回展 入場者数

	2日 土		3日 日・祝		4日 月・祝		5日 火・祝		6日 水・振		合計	22回	21回	20回
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後				
有料入場者														
当日入場券(一般) @¥600	120	170	150	251	160	290	130	262	154	260	1947	1964	2177	2181
(高校生) @¥300	0	2	2	11	2	5	0	6	0	12	40	44	59	53
前売入場券(一般) @¥500	57	75	75	70	72	94	53	75	50	109	730	750	783	818
(高校生) @¥200	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	6	5	4	1
有料入場者数	177	247	227	332	234	389	183	343	210	381	2723	2763	3023	3053
招待券	3	3	5	2	8	6	5	13	2	15	62	41	60	55
出品者はがき	27	58	26	46	35	41	16	68	23	130	470	495	502	482
美協関係者	3	2	4	2	2	2	5	15	1	30	66	64	45	62
中学生以下	1	5	8	8	8	17	7	36	16	24	130	167	120	130
車椅子	2	7	2	2	1	0	0	2	2	1	19	12	12	10
障害者	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3	6	7	11
無料入場者数	36	77	46	60	54	66	33	134	44	200	750	785	746	750
合計	213	324	273	392	288	455	216	477	254	581	3,473	3,548	3769	3803
1日計	537		665		743		693		835					
天気	晴れ	晴れ	晴れ	曇り	曇り	曇り	晴れ	晴れ	曇り	曇り	-75			

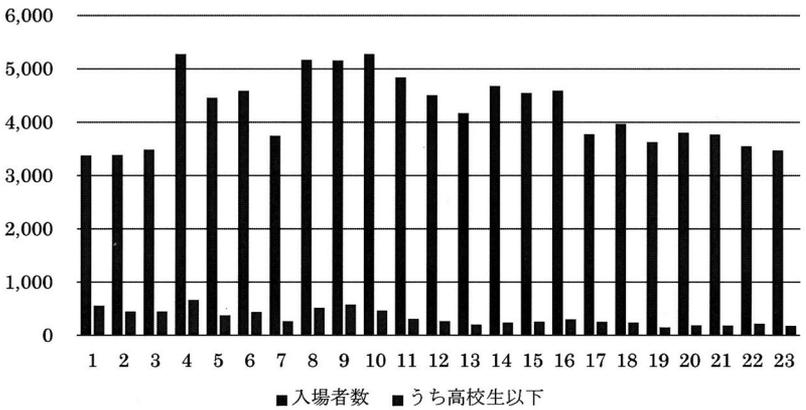
《参考》 これまでの入場者数と応募作品数推移

回数	展示会期 日程	入場者数	うち高校生以下	応募点数	応募人数
1	平成 4 7/22 ~ 7/26	3,376	552	938	740
2	平成 5 4/28 ~ 5/2	3,384	446	682	507
3	平成 6 4/27 ~ 5/1	3,485	445	814	592
4	平成 7 5/3 ~ 5/7	5,278	663	964	655
5	平成 8 5/8 ~ 5/12	4,456	371	1,025	694
6	平成 9 5/1 ~ 5/5	4,587	436	1,018	703
7	平成 10 5/27 ~ 5/31	3,742	261	1,058	686
8	平成 11 5/2 ~ 5/6	5,169	516	1,080	700
9	平成 12 5/3 ~ 5/7	5,157	577	1,167	724
10	平成 13 5/2 ~ 5/6	5,276	464	1,091	707
11	平成 14 5/1 ~ 5/5	4,841	306	1,209	807
12	平成 15 4/28 ~ 5/2	4,507	262	1,145	733
13	平成 16 5/4 ~ 5/8	4,166	197	1,209	762
14	平成 17 5/2 ~ 5/6	4,680	239	1,228	788
-	平成 18				
15	平成 19 5/2 ~ 5/6	4,547	256	1,057	700
16	平成 20 5/2 ~ 5/6	4,594	299	1,179	753
17	平成 21 5/2 ~ 5/6	3,775	252	1,068	700
18	平成 22 5/2 ~ 5/6	3,969	237	1,172	770
19	平成 23 5/2 ~ 5/6	3,628	147	1,173	765
20	平成 24 5/2 ~ 5/6	3,803	184	1,153	747
21	平成 25 5/2 ~ 5/6	3,769	183	1,170	735
22	平成 26 5/2 ~ 5/6	3,548	216	1,074	725
23	平成 27 5/2 ~ 5/6	3,473	176	1,043	713

2 3 回展までの応募作品数推移



2 3 回展までの入場者数推移



第23回展 収支決算

収入の部	前売券	485,833 円
	当日券	1,095,000 円
	出品料	1,773,148 円
	四国大学協賛金	300,000 円
	合 計 (A)	3,653,981 円
支出の部	会場費 (ホール・看板類含)	1,401,553 円
	手数料	152,090 円
	印刷費	329,000 円
	受賞者への賞金 (のべ51名)	934,813 円
	審査協力金 (県美協)	140,000 円
	アルバイト (謝金)	449,000 円
	飲食費	81,263 円
	郵送料 (案内・審査結果)	82,274 円
	雑費 (コピー機・文具)	49,008 円
	告知費 (テレビCM・番組製作)	0 円
	合 計 (B)	3,619,001 円
収 支	(A-B)	34,980 円

第 24 回展（2016年）スケジュール

		時間	内容
12月中			各種印刷物デザイン（ポスター／要項／申込用紙）
1月13日	水		各部門からの審査員推薦締め切り ※下記の発注時に審査員名を刷り込みます
1月中旬		—	印刷物発注
1月下旬	金・祝		印刷物各種納品
2月上旬		—	告知開始（テレビCM放送、印刷物の送付）
			送付先・・・無審査、各学校、美協会員
4月14日	木	—	作品申込締切 ※必着とする
4月22日	金	17:30～	24回展 運営委員会 （出品者リストのお渡し）
4月29日	金・祝	9:00～9:30	搬入準備
		9:30～12:00	搬入
		12:50～13:00	審査打ち合わせ（洋画部のあたり）
		13:10～16:00	公開審査
		～16:30	審査結果を事務局提出締切、放美賞受賞者連絡
		～18:00	作品展示
		18:00～	賞状を筆耕に預け、受賞者記名
			審査結果を印刷に回し、パンフレット作成へ 受賞者用 楯ネーム入れ
4月30日	土	9:00～18:00	洋画部展示、テレビ撮影、パンフレット校正
			審査結果ハガキ記入、発送
5月1日	日	—	賞状誤字確認 パンフレット納品（夕方）
5月2日	月	10:00～17:00	会期初日、
5月3日	火・祝	10:00～17:00	会期二日目
5月4日	水・祝	10:00～17:00	会期三日目
5月5日	木・祝	10:00～17:00	会期四日目、表彰式（14:00～／5階）
5月6日	金	10:00～17:00	最終日～17時撤収スタート
5月7日	土	—	あわぎんホール 作品引取り立会い
5月8日	日	—	作品引取り立会い 予備日

第 24 回展運営詳細（受付・審査・要項・無鑑査）

1：作品受付

- (1) 搬入日に作品を直接持参しても、書類受付ができていない作品は受付できないものとする
- (2) 審査員、無審査出品者の書類申込および作品搬入は、一般公募と同様におこなうものとする
- (3) 書類受付があり作品の搬入がなかった場合は、受付表（審査表）の左欄に×をつけて出品数には数えないこととする。
- (4) 出品作品名は変更できないものとする。

2：作品保管

- (1) 選外作品の搬出は審査終了（4/29）から展示初日（5/2）までとする。
- (2) 展示作品で搬出しなかった作品は、展示室5に移し5/8午後3時まで保管し、その後出品者負担で送り返すものとする。

3：審査員

- (1) 審査員は各部から3名を推薦し、2016年1月13日（水）までに、推薦者を事務局（上野）まで送るものとする。
- (2) 審査員は3年以上連続することができないものとし、審査員は必ず作品を出品することとする。
- (3) 審査員は、審査終了まで他の業務につくことは避けることとする。

≪参考≫18回展以降の審査員

	日本画	洋画	写真	彫刻	美術工芸	書道	デザイン
第 18 回 2010 年	岡 英彦 橋本正弘 日浦猛史	西川周三 露口敏幸 松川 寛	櫛淵 魏 上野昭文 荒井賢治	鎌田邦宏 居上真人 上月佳代	山上 馨 松下雄介 森 賢一	竹田和代 武市鳴雲 長原皋聖	坂野美恵子 坂口 功 北島豊嗣
第 19 回 2011 年	中川 健 土井洋子 西野和男	露口敏幸 中辻奈美枝 松川 寛	上野昭文 荒井賢治 井藤光章	鎌田邦宏 上月佳代 長岡 強	七條猪三郎 橋 惠 松下慶一	武市鳴雲 長原皋聖 河野真流	田中一郎 敷島のり子 北島豊嗣
第 20 回 2012 年	土方るみ子 中川 健 中西芳雄	中辻奈美枝 黒崎志郎 樹田 務	井藤光章 橋本圭祐 大和健司	長岡 強 濱口 恵 松永 勉	松下雄介 多智花佐代子 森 賢一	能仁華瑤 河野真流 荒井彭仙	福井 章 敷島のり子 四十宮陸志
第 21 回 2013 年	岡 英彦 西野和男 日浦猛史	黒崎志郎 玉田秀子 樹田 務	橋本圭祐 大和健司 櫛淵 魏	濱口 恵 松永 勉 井下俊作	七條猪三郎 松下慶一 犬伏 絢	能仁華瑤 亀石文苑 荒井彭仙	吉本 實 四十宮陸志 敷島のり子
第 22 回 2014 年	西野和男 橋本正弘 中西芳雄	玉田秀子 露口敏幸 長尾弘久	櫛淵 魏 上野昭文 林 敏彦	井下俊作 居上真人 鎌田邦宏	橋 惠 松下雄介 斉藤和彦	山口華城 亀石文苑 前川古舟	福井 章 斎藤繁次 北島豊嗣
第 23 回 2015 年	岡 英彦 中西芳雄 日浦猛史	露口敏幸 長尾弘久 田中シゲミ	上野昭文 林 敏彦 井藤光章	居上真人 鎌田邦宏 上月佳代	多智花佐代子 森 賢一 森 明治	山口華城 富久鳴泉 前川古舟	坂野美恵子 吉本 實 四十宮陸志

4：各部の作品等の規格（別紙 第23回放美展募集要項を参照）

◆日本画

◆洋画

◆写真

◆彫刻

◆美術工芸

◆書道

◆デザイン

5：入賞

① 放美賞・・・各部門1点

② 優秀賞・・・出品作品数25点につき1点

③ 四国大学賞（25歳以下対象）※誕生日が平成2年4月28日以前の方

④ 梅岡トヨ賞（高校生対象）※ 24回展が最終

梅岡トヨ文化振興基金から、入賞以上優秀賞未満の高校生の中から
1点に賞金（高校生の入選のない部門は見送る）

5：無審査出品者について

放美展無審査出品者規定

(平成7年1月28日制定・平成10年2月6日一部改正・平成24年1月11日一部改正)

(1)放美展の各部門審査員

(2)放美展において無鑑査出品の資格を取得した者

- ① 年回を問わず放美賞1回を2点、優秀賞1回を1点とし、5点を取得した場合に無鑑査出品の資格を得る
- ② 無鑑査出品は5年に限るものとする
- ③ 無鑑査資格の者が2年連続で出品しない場合はその資格を失うものとする

部門	第1項該当者			第2項該当者
	各部門審査員			無鑑査
日本画				なし
洋画				
写真				田中伸廣 (4) 川西明雄 (3) 多田進 (3) 島 廣幸 (3) 大西啓子 (1)
彫刻				大貝寿子 (2)
美術工芸				大貝寿子 (3) 大貝貞雄 (1) 松本 宏 (1)
書道				なし
デザイン				佐々木奏美 (2)

**【要提出】第24回（2016年）放美展審査員推薦書
部門（ 写 真 ）**

氏名		住所	電話番号	役職等
1	井藤 光章	〒770-0872 徳島市北沖洲一丁目7-43	088-664-2763	美協理事
2	増田 寿	〒770-0874 徳島市南沖洲一丁目7-24	088-664-1381	美協理事
3	大和 健司	〒773-0015 小松島市中田町狭間34-2	0885-33-3172	放美展 運営委員

(1) 3名の審査員を各部から推薦してください。審査員は3年以上連続することができません。

(2) 審査員に推薦された者は、次のことを順守してください。

① 他の業務（例えば搬入業務）につくことは、審査が終了するまで避けるようにしてください。

② 審査員は、放美展に作品を必ず出品してください。

（事前に出品申し込み用紙で 作品タイトルなどをご連絡ください。）

(3) この推薦書は、2016年1月13日（水）までに、事務局（上野）までお送りください。

【要提出】第 24 回 放美展 各部門役割分担表

日時	役割	部 門						
		日本画	洋画	写真	彫刻	美術 工芸	書道	デザ イン
4月29日 (金・祝) 9:00～	搬入受付 (会計事務)							
4月29日 (金・祝) 13:00～	審査全般							
	テレビインタビュー 一対応者							
	審査評 執筆者							
4月30日 (土) 9:00～ 洋画部のみ	展示全般							
5月5日 (木・祝) 14:00～	表彰式で の審査講 評者							
5月6日 (金) 17:00～	搬出・ 片付け等 全般							

※この役割分担表は、2016年3月23日(水)までに、事務局(上野)までお送りください。

【要提出】第24回（2016年度）放美展会期中当番表

時間 月日	午前 (10:00~13:00)	午後 (13:00~16:00)
5月2日 (月)	(彫刻)	(美術工芸)
5月3日 (火・祝)	(書道)	(デザイン)
5月4日 (水・祝)	(日本画)	(洋画)
5月5日 (木・祝)	(写真)	(彫刻)
5月6日 (金)	(美術工芸)	(書道)

- (1) 当番の者には、日時を確認して氏名を記入してください。
- (2) 当番の者には、決められた日時に、まず先にあわぎんホール（郷土文化会館）3Fの控え室にお越しいただき、名札を受け取るようにご連絡ください。
- (3) 当番表は、2016年3月23日（水）までに、事務局（上野）までお送りください。

第23回放美展 応募規定

① 部門 日本画・洋画・写真・彫刻・美術工芸・書道・デザイン

② 応募資格 高校生以上(在住の県内外は問いません)

●ただし、指定された日時に作品の搬入、搬出が可能な方に限ります
業者等に作品の搬入・受付・搬出の手続きを委託することは可能ですが
作品のみの送付は受付られません

③ 応募点数 1部門 1出品者 3点まで

④ 作品の規格

〔日本画〕 作品寸法 最小一辺線の幅を除いた画面の縦横が70センチ×47センチ以上
最大一辺線の幅を含めた画面の縦横の一方が130センチ以内
作品は型紙やパネルを使用の上、額装し、作品ウラ面に吊り紐をつけること
パネルや画面が破れを出さないこと、アクリル・ガラス等で画面を覆わないこと
●放美展の日本画出品者に対する「額装」とは作品正面から見て一辺が幅1センチ以上の
木材または金属製の額で仕立てることをいう

〔洋画〕 作品寸法 最小20号(画面は最小10号)から最大50号以内(ただし、5型は30号が上限)
アクリル・ガラス等で画面を覆わないこと(ただし、水彩画、墨画はアクリルに貼り可)
作品は必ず額装し、作品ウラ面に吊り紐をつけること

〔写真〕 作品寸法 単写真、組写真とも半切およびA3から全倍サイズ
画面の長辺は40センチ以上90センチ以内
スクエアサイズ(正方形)は一辺が30センチ以上50センチ以内
組写真は1パネル(90センチ×180センチ以内)に全作品を固定
作品は必ずパネル貼りし、額装はしないこと
(ガラス、アクリル装着、金属、プラスチック、木材などによる粹取り不可)

〔彫刻〕 作品寸法 彫刻美術館工芸会館のエレベーターに収容可能な大きさ
作品重量 100kg以内
展示に危険を伴わないもの

〔美術工芸〕 木、竹、金工、陶磁、漆、染色、織物、人形、ガラス等
作品寸法 立体作品 50立方センチ換算以内
(縦×横×奥行がそれぞれ100センチ以内で125,000立方センチ以内)
平面作品 150平方センチ換算以内
(縦×横がそれぞれ180センチ、150センチ以内で22,500平方センチ以内)
作品には展示可能な用具を必ずつけ、前後がわかるよう明示すること

〔書道〕 作品寸法 仕上げり 0.85平方メートル以内(横/半切、半切+半切4分の1、全紙2分の1)
作品は必ず額装し、作品ウラ面に吊り紐をつけること
出品申込書に横断(漢字・かな・近所・名前)を、ウラ面には釈文を記載のこと

〔デザイン〕 グラフィックデザインに限る
作品寸法 81(728ミリ×1030ミリ) 厚さは5ミリから75ミリ以内
作品重量 外枠(幅20ミリ以内)を含めて5kg以内
ガラス額装は不可 実在の商品名、会社名の使用は不可(著作権・肖像権に抵触しないこと)
作品ウラ面に吊り紐をつけること

放美展 会期中のイベント提案

減収の根本的な問題として、出品数、入場者数の減少があげられますが、減少傾向を止めることができていません。出品数について、今回は高校生の出品点数が前回より44点増えましたが、少子化傾向なども影響し、すそ野を広げていくのは難しい状況かと思われます。

入場者数についてはGWの過ごし方が多様化する中、会期中の入場者数だけでも増やすことができればと、考え、下記のような提案をいたします。

提案（1） ギャラリートーク

会場内で審査員、もしくは運営委員の先生方などによる“ギャラリートーク”の開催。お客様を連れて会場内で審査員の先生が観覧しながら作品の説明や、楽しい話を交えて魅力を伝えていただくチャンスにしていいただければと思う。

また、出品した方には「出して良かったな」、選外になった方には「来年も出品してみようかな」と感じていただければと思う。

◇ 実施日程

可能であれば 各部門が 開催期間中に1回ずつ実施

午前 午前11時～ ○○部門

午後 午後1時半～ ○○部門 ・ 午後3時～○○部門

24回展 (2016年度) で当てはめると・・・

5月2日 (月・平日)

5月3日 (火・祝日) 午前1回 (1部門) ・ 午後1回 (2部門)

5月4日 (水・祝日) 午前1回 (1部門) ・ 午後1回 (2部門)

5月5日 (木・祝日) 午前1回 (1部門) 午後～表彰式

5月6日 (金・平日)

- ◇ 告知方法 ポスター、テレビPRスポット、HPなどでの告知をし集客を図る。
- ◇ 参加方法 入場券で 参加いただけるイベントとし、当日受付とする。

<検討課題>

- ※ 各部門の事情で実施できない部門があるかもしれない。
- ※ 静かに観覧したいお客様からの苦情は？

提案(2) ワークショップの開催

開催期間中、実際にアートに触れてもらえる気軽な体験教室として実施。

たとえば、彫刻体験、絵具を使って絵手紙体験、簡単スケッチ体験、書道体験などを提案します。

- ◇ 実施日程 5月3日、4日 午前1回 午後1回
- ◇ 実施場所 4階会議室5 (写真部門展示会場の奥)
- ◇ 実施内容 参加資格 事前募集 先着25名様 もしくは当日先着25名様
年齢制限： 小学校1年生以上

<検討課題>

- ◆講師の先生のほか 数名体験者のフォローをしていただく先生が必要
- ◆材料費がかかる。
- ◆会場となる会議室の料金がかかる。
- ◆事前に参加者を募集する場合、事前に詳しく告知して応募者を集約する、連絡を取り合う必要がある。

なお、ギャラリートーク、ワークショップどちらを実施するにしても、入場券だけでご参加いただけるイベントとして考えています。

またご協力くださった先生には謝礼が必要と考えています。